



広島国際学院
創立86年



7月7日にJR広島駅地下広場にて『広島国際学院大学 元気な広島・夏まつり!』を開催。研究室やサークル等がそれぞれに趣向を凝らしたイベントを催し、大盛況だった。

初めての「夏まつり」華やかに開催

| | |
|----------------------------------|-----|
| 特集 元気な広島・夏まつり! | 2・3 |
| 新設備登場に勉強意欲も過熱 工学部 | 4 |
| 社会に活気と潤いを与える取り組み 情報文化学部 | 5 |
| 人間力を磨く多彩な学び 総合教育センター | 6 |
| 明日へ力強くスタート 短期大学部 | 7 |
| 高校から発信 | 8・9 |
| 第25回学外展「butterfly」 | 10 |
| 子どもに着衣水泳を指導 | 10 |
| 新任職員紹介 | 10 |
| 学生時代の想い出と社会人になって思うこと | 11 |
| 留学生交流会 | 11 |
| 今村先生の叙勲受章を称えて | 12 |
| オープンキャンパス | 12 |
| 今後の主な行事予定 | 12 |

広 報

第92号

平成25年9月1日発行

URL <http://www.hkg.ac.jp/>
※大学ブログも公開中。あわせてご覧下さい。

広島国際学院大学 元気な広島・夏まつり!

～学生の企画で初開催、ひろチカにぎわう～



当日の会場。

笹飾りや浴衣姿の学生も雰囲気盛り上げた

た。この考えを担当の教授にお話ししたところ、このイベントを企画・実行しようということになりました。

計画当初は、協力サークル・研究室も少なかった為、本当に開催できるのかという不安もありましたが、当日には10以上のサークルや研究室の協力を得ることができました。

特に茶道部によるお茶会の反響は大きく、当初は300人程度の参加を考えて計算していましたが、実際には1,000人近くの方々にお茶会へ参加していただきました。お客さんの中には外国から観光にいらっしゃった方や小さなお子様を連れた方など、様々な年代の方々に来ていただきました。茶道部としても初めての人数で、困惑もあったがとても良い経験になったとイベント終了後に述べられていました。

家族連れの方に好評をいただいたものが、情報デザイン学部研究室と工学部研究室によるコラボ企画の塗り絵コーナーでした。この企画は、



家族連れに大人気だった塗り絵コーナー

初めに情報デザインの学生によるキャラクターの塗り絵をお子様へ用意し塗って遊んでもらいます。その間に工学部の学生がお子さんの名前を彫った「よくできました」判子をその場で作り、保護者の方へお渡しし、完成した塗り絵に押印してもらいます。こどもたちは自分で完成させた塗り絵に保護者の方から判子を押ししてもらい、とても誇らしげでした。

その隣ではラジオ放送(広島国際学院大学ラジオ中野6丁目出張版)も行っており、開始から終了まで長い時間を交代で休憩しつつも最後まで放送していました。時折、会場の学生をゲストに呼ぶなど飽きない放送を続けてくれ、会場の外まで盛り上げていました。

広島国際学院大学夏まつり実行委員会 委員長 瀧谷 勇司
(総合工学科4年 呉工業高校出身)

7月7日、広島国際学院大学夏まつり実行委員会主催によるイベント「広島国際学院大学 元気な広島・夏まつり!」を広島駅南口地下広場(通称ひろチカ)で開催しました。

「元気な広島・夏まつり!」は、今年が第1回目です。このイベントを企画したきっかけは、もっと私たちの大学を知ってもらいたいという思いからでした。現在大学が行っているイベントは、お客さんのほとんどが元々大学に興味がある人ばかりです。私たちの大学に興味を持ってくださる方に私たちを知ってもらうことも大切ですが、私たちが知らない人に私たちを知ってほしいという気持ちが私にはありました。



1,000人近くが訪れ「ひろチカ大茶会」の様相を呈した茶道部

その隣ではラジオ放送(広島国際学院大学ラジオ中野6丁目出張版)も行っており、開始から終了まで長い時間を交代で休憩しつつも最後まで放送していました。時折、会場の学生をゲストに呼ぶなど飽きない放送を続けてくれ、会場の外まで盛り上げていました。



場外まで長時間にわたり盛り上げてくれたラジオ放送



わかりやすい説明が好評だった化学実験

他にも、テーブルゲーム部による各種ゲーム大会や、美術部・写真部・電子計算機研修会による作品展示も行っていました。作品展示には前日準備の段階から通りかかる人が興味を示し、当日も色々な方が作品を鑑賞して、時折「すごいね」や「面白い」といった声も聞こえてきました。

夕方からはステージ企画を行いました。糸洲会空手道部による演舞・瓦割り、学友会によるダンス、Music Planning Agency (略称 MPA) によるバンド演奏、吹奏楽部による演奏会など、色々なサークルがパフォーマンスや演奏を披露しました。初めに糸洲会空手道部による演舞と瓦割りが実演されました。どちらも、会場中の目が集まり最後には拍手が鳴り響きました。特に、瓦割りではその場にいた全員が息を呑み、割れんばかりの拍手に包まれました。

次に学友会によるダンスを行いました。このダンスのために用意した衣装を着て颯爽と会場へ現れました。緊張感溢れる瓦割りのあとのため、ユニークな衣装とダンスに皆笑ってダンスを鑑賞していました。

MPAによる演奏では、会場の都合により普段使っている楽器が使えないなどのアクシデントもありましたが、見事な演奏を披露してくれました。

最後に吹奏楽部による演奏会で夏祭りの幕を閉じました。皆が知っている楽しい曲をたくさん演奏してくれて、お客さんだけでなく運営している学生も笑顔で聴いていました。

展示・演奏以外にも活躍してくださったサークルがあります。放送通信研究会、通称VODと呼ばれるサークルです。彼らには会場の音響の設営・運営にあたっていただきました。初めての環境にも関わらず、様々なサークル・研究室の要望を汲み取り八面六臂はちめんろくびの働きをみせてくれました。彼らがいなければこのイベントは実現できなかったのではないかと思います。本当に感謝しています。



自転車でどれだけ明るくできる？
競争も楽しい発電実験

終わってみると、あっという間のイベントでした。様々なサークルや研究室が軒を連ね、会場内は正にごった煮という言葉が似合う様子でした。同じキャンパスにいくつもの学科を抱えている広島国際学院大学だからこそできたイベントではないかと思います。

初開催ということもあり、わからないことだらけで四苦八苦しましたが、このイベントで得た喜びや不満、悔しさなどは絶対に他のことで役立ついい経験になったと思います。



ユニークな衣装とダンスで会場は笑いの渦に

最後にこのイベントにご協力いただいた各業者の方々、参加していただいたサークル・研究室の方々、そしてご来場くださいました方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

本当に、ありがとうございました！



祭りの最後を飾った吹奏楽部の演奏

新設備登場に勉学意欲も過熱

工学部

5号館前に石窯が完成しました！

食農バイオ・リサイクル学科では、環境と調和した食の実践教育を目指しています。そのシンボルとして学生と共同でレンガ積みの石窯を製作しました。総重量約2.5トンの窯は昇温だけでも最低3時間かかりますが、一旦暖まれば連続して大量の食材を調理できます。近年スローフードという言葉で代表されるように、手間暇をかけて焼いたピザやパンはほんのりと薪の薫りがするまさに絶品となりました。

今後オープンキャンパスや各種イベントで体験プログラムなどを企画していきますので是非お越しください！



学生と教員の手で作りに上げた石窯

※製作過程などは工学部ブログをご覧ください

<http://www.hkg.ac.jp/eng/blog/>



「環境の日ひろしま」に今年も本大学が出展

「環境の日ひろしま」に出展

本年度も、「環境の日」広島大会が県庁前広場で6月2日に開催されました。多くの企業等が環境関係の技術や製品を出展し、市民の方々が多数訪れました。

本大学では、光合成細菌を使って放射能除染すれば野菜等の植物に放射能が移行しないことを確かめるために、福島県で行っている実証試験の報告と、自動車のコンピュータ基板からの電子素子回収に関するパネルと実物を展示しました。今回は学生中心で説明を担いました。学生達は、多くの方々に対応する機会を得て企業の環境への活動について直接お話を聞き、環境への意識を高めることができました。

CAD演習室リニューアルオープン

コンピューターを使って設計を行うCADは、近年急速に発達して普及しつつあります。本大学工学部でも最先端の3次元CADを学習するためのCAD演習室を設置していますが、このたびコンピューターが新しくなり、OSも64bitになりました。それに伴ってCADソフトも最新のSolidWorks2013となり、より実践的な学習ができるようになりました。さらに仮想的に試験を行うCAEや3次元プリンターなどで、試作までも自動的に行うCAMも充実しています。



リニューアルされたCAD室

第一種・第二種電気工事士の国家試験



実技試験の練習に勤しむ学生たち

本大学工学部では、国家資格「第一種電気工事士」、「第二種電気工事士」受験のため、試験実施日に合わせた集中講義の形式で講習会を開講しています。この国家試験は、6月初旬に第二種の筆記試験、7月下旬に第二種の実技試験が実施されます。

今年は筆記試験、実技試験とも既に終了しました。暑い中で学生たちはよく頑張りました。

第9回 “ちいさな” 平和コンテスト

「ちいさな”平和コンテスト」を今年も開催し、本大学の広島駅地下展示スペースに平和を願う気持ちのこもった作品全122点を展示しました。

9回目となる今年は、猫や犬、鳥、昆虫などの身近な生き物に関する写真の投稿が多くありました。撮影地も九州から関東まで幅広く、それぞれの視点で身近な平和への思いを投稿していただきました。

展示の準備には学生実行委員会のメンバーと有志が参加。展示搬入当日も多くの学生が参加し、暑い中集中して作業を行いました。

ウィンドウの下部には審査のための投票シールが貼られ、展示作品をご覧いただいた一般市民の方々に参加していただきました。関わってくださった全ての方々にとって、平和を考える一助となればとスタッフ一同、願っています。



作品を展示する学生たち



学生にレクチャーするオコーネル氏（中央）

「NHKミニミニ映像ワークショップ2013」開催

7月6日に本大学マルチビジョン教室にてNHKミニミニ映像大賞ワークショップが開催されました。

今回の講師はNHK広報局制作部に所属されているリッキー竜太オコーネル氏で、「映像作品のつくりかた“今より少しうまくなる方法”」というテーマでワークショップを行っていただきました。ワークショップではアイデアや発想を生み出す方法を行ったり、生まれてきたアイデアから簡単なストーリーを考えたり、また、映像の文法をふまえて、画コンテを描いたりしていきました。

ワークショップの前半はアイデアの出し方やアイデアを膨らませる方法のレクチャーを経て、簡単なお話を作っていました。参加者から集まったアイデアをホワイトボードに書き出していきます。後半は映像の基本的な文法の解説のあと、決められたあらすじから実際に画コンテを制作していきました。アマチュアの方が作った映像とプロの方が作った映像のちがいを興味深い話も伺うことができました。

充実した内容に参加した学生からは「アイデアの出し方がためになった」「映像を作る上で参考になった、楽しかった」という声を聞きました。

地域貢献活動に参加しました

5月26日、広島市東区「東地域交流センター あいあいプラザ」で開かれた「福祉通りあいあい広場」に現代社会学科の学生2人と藤本風明准教授が参加しました。

この企画はあいあいプラザ・(財)広島市尾長町協和会・尾長地区民児協・(社)福祉交響が実行委員会を結成し開くもので、今回で8年目になります。東区内の障害者福祉作業所の利用者が制作した食品や商品が展示即売され、なかなかの人気です。いずれも4年生の齊藤圭祐さん(広島国際学院高校出身)と甲斐美佳さん(同上)は、売店での業務を担当しました。

ステージでは、東区内の児童養護施設の和太鼓の発表や、福祉作業所の仲間(利用者)達のフラダンスや歌声、民生委員・児童委員による手話コーラスも披露され、楽しいひと時を過ごしました。

本大学の現代社会学科は、社会福祉施設の運動会などの諸行事や地域交流活動センターの行事に参加し地域貢献に努めています。



齊藤さんと甲斐さんは売店コーナーで活躍

高城山登山



山頂での記念写真

新しい総合教育センターでは、平成25年度から基礎学力と就業力を育成するため新しい科目区分「高城科目」を設けました。名称の由来となった高城山(496m)は、本大学中野キャンパスの北方後背に位置し、西の蓮華寺山、南東の瀬野川とならび、本大学を取りまく自然環境のシンボルです。学生全員が身につけてほしい一定の基礎的スキルを育成する科目、また本大学生としての自覚を涵養する科目から構成されます。これを記念して4月21日、教職員11名、学生23名が高城山・蓮華寺山縦走登山ルートに臨みました。みどり坂団地上登山口で準備運動をしてから高城山頂上を目指し、高城山頂上では昼食後に記念撮影しました。その後、蓮華寺山へ縦走しました。出発からの全行程におよそ4時間かけ、全員が蓮華寺山登山口に到着、安芸中野駅で解散となりました。

女性セミナー



メイクアップ講座

新しい総合教育センターでは、外部から講師を招いて女子学生を対象にした講座「女性セミナー」も運営しています。第1回目の「メイクアップ講座」(5月18日)では、プロのメイクアップアーティスト古田絢子氏をお招きして、就職試験の面接で好印象を持っていただけるように、好感度アップの化粧と基本テクニックについて基礎からレッスンしていただきました。また、第2回目は「自分に似合う色探し」というテーマで、「カラー講座」(7月13日)を開催しました。この講座では、受講生全員が講師による「パーソナルカラー」診断を受診して、春夏秋冬の中から自分を最も引き立たせてくれる季節の色を見つけ出しました。洋服やアクセサリなどの色で相手に与える印象が違うことや、TPOに合った効果的な色の選び方も学ぶことができました。今後も女性セミナーでは、就職活動や日常生活で必要なことが学べるような講座を開催したいと思っています。



カラー講座

初年次セミナー



初年次セミナー第4週「大学生と人権」

高城科目には、「初年次セミナーⅠ・Ⅱ」(前・後期)や「特別キャンパス活動」といった新しい科目があります(特集の「元気な広島・夏まつり!」は特別キャンパス活動の一環として実施されました)。総合教育センター・各学科・事務部が連携して運営する「初年次セミナー」は、初年次生が大学での生活と学びに円滑に移行できることを目的とします。第4週までは全学科合同セミナー形式で実施され、大学生として、また本大学生として必要な知識・認識・自覚をもつための授業を行いました。第3週「大学生の生活と学習」では、社会における大学、本学の歴史や建学の精神、教育理念といったものを学びました。第4週「大学生と人権」では広島人権擁護委員協議会から講師を迎え、デートDVをテーマに人権に関する知識・認識を身につけました。第5週からは学科別セミナー

形式で実施し、所属学科で学び始めるうえで必要な知識・技術を身につけています。後期には、ガッツ石松客員教授による特別授業(10月2日)を予定しています。

中四国学生ジムカーナ選手権大会 個人戦優勝！

平成25年度中四国学生ジムカーナ選手権大会が5月4日、安芸高田市高宮町にあるTSタカタサーキットで開催されました。中四国の全日本学生自動車連盟に加盟している大学から14チーム計42名が参加しました。

本短大の自動車部からは2チーム6名が出場しました。残念ながら団体戦での入賞は逃しましたが、専攻科2年の新谷龍樹君(広島市立工業高校出身)が当日のベストタイムを出し、個人戦で見事優勝に輝きました。

新谷君は「自動車部の夏明成己監督に日頃から車の動きや動かし方を理解し、車から伝わってくる情報を感じ取って運転することとされているので、そのことを考えながら運転した」と話してくれました。次の目標について「平成25年度全日本学生ジムカーナ選手権大会の団体戦入賞。中四国大会で成しえなかった団体戦入賞を目標に掲げ練習していく」と熱く語ってくれました。



圧巻の走りを見せた新谷君



発声や言葉遣いに厳しいチェック、緊張感漂う電話対応練習

就職支援授業「クルマの整備業」

「会社訪問に必要な基本マナー」講座を開催

夏休みから始まる1年生の会社訪問を控え、訪問先へのアプローチの仕方を学びました。「電話のかけ方と言葉遣い」「訪問先での挨拶や心得」「訪問先での好印象を得るためのチェックポイント」など、プロの外部講師から教えていただきました。日頃学んだことのない実践を交えた講師の話を目で聞き、目で見ながら身体で表現するなど、短い時間でしたが学生にとっては有意義な時間となりました。

講師の長谷川あかねさんは以前、自動車販売会社で新卒者の面接や採用に携わっておられました。学生も厳しい社会の現実に一瞬触れたことで真剣味が一層増したのでは、と思っています。

なお、会社訪問の目的・見るべきところ・整備士の仕事などは既に支援授業で学んでいます。訪問準備はほぼ完了しましたので、会社訪問の受付開始からは爽やかにスタートダッシュを掛けたいものです。

水無月祭を開催

6月1日、学友会主催の水無月祭(ソフトバレーボール大会)と学生生活指導委員会主催の学生交流会(バーベキュー)が行われました。

奥田勉学長は開催の挨拶の中で「水無月」の語源についての話をされました。続いて、高田晶寛学友会長(自動車工業科2年 愛媛県立吉田高校出身)から「けがの無いよう、楽しく元気に」と開会宣言があり水無月祭が始まりました。

大会は昨年より2チーム多い、学生7チームに教職員チームを含めた全8チームが参加。熱戦が繰り広げられた結果、予想に反して教職員チームが優勝しました。

大会終了後は4つのコンロを囲んでバーベキューを楽しみました。焼肉、おむすび、焼きそばなどを堪能しました。

小雨の降る中でしたが、準備から後片付けまで参加者全員で協力し、身も心も大満足な1日となりました。



バーベキューを楽しむ参加者たち



あてやかな浴衣姿で観客を魅了した盆踊り

感動と絆 第65回体育祭

保護者代表

6月8日、お天気にも恵まれ、「国際魂いつ魅せるか？今でしょ!!」のテーマのもと第65回体育祭が行われました。今年も立ち見が出るほど多くの保護者の方に来ていただきました。

1年生女子は鳴子を使い、息のあった演技を見せてくれました。1年生男子の集団行動は、機敏な動きの中にもユーモアがあり、多くの観客を魅了しました。2年生は恒例のフォークダンスで恥じらいながらも楽しく踊る姿に男女の仲の良さを見せてくれました。自分たちで浴衣の着付けをした3年生の盆踊りは、初の

アンコールがでるほど盛り上がりました。クラブ対抗リレーでは各クラブが趣向を凝らしたパフォーマンスを披露し、爆笑を誘っていました。クラス全員が一丸となって戦ったクラス対抗リレーは迫力があり、大きな感動を呼びました。

生徒たちの笑顔と強い絆を感じることができた素晴らしい一日でした。

集団合宿を終えて

今回の集団合宿を終えて感じることは、生徒たちの中に一人ひとりの責任感やクラスとしての連帯感が生まれたのではないかとことです。

集団合宿中のカッター訓練や体育祭の集団演技の練習、または朝のつどいや夕べのつどいなどを通じて、時間を守ること、規律を守ること、自分一人の身勝手な行動が集団全体に影響を及ぼすことを肌で感じ、何度も叱られる中で自分の行動に責任を持つことの大切さが多少なりとも理解できたのではないかと思います。

また、普通科I型II型ではレクリエーションとしてクラス対抗長縄大会を行いました。4月に本高校に入学したばかりでまだまだクラスがぎこちない雰囲気でしたが、クラス全員で力を合わせて一つのことを成し遂げるという経験を通じ、クラスメイトと共に学校生活を送っていく仲間として認識でき、クラスの絆も深まったのではないかと感じています。

この3日間の経験を今後に生かし、普段の学校生活で時間や規律を守り、自分の行動に責任の持てる高校生に今後なってもらいたいと期待すると同時に、体育祭やクラスマッチ、文化祭などの学校行事などを通して、クラスの仲間との絆がより深まっていくことを願っています。



カッター訓練



体育祭に参加したラモン君
(中央)

4ヶ月間のホームステイを終えてドイツへ帰国

1学期、本高校にドイツから留学生ラモン・デミル君がやって来ました。普通科1年5組に所属し、集団合宿や体育祭にも参加しました。徐々に学校生活にも慣れ、日本での生活を満喫したようです。しかし、高校生のしゃべる日本語は難しかったと言っていました。毎週水・木曜日は先生の指導のもと、日本語の勉強にも熱心に取り組みました。ラモン君が書いた感想文を紹介します。

はじめてがっこうにきたとき、どきどきでしたが、クラスのみんなは、やさしかった。かぞくのような感じ。まりこせんせいとおかあさんのようだった。

しょどうでは神というじをかきました。れきしではヨーロッパのれきしをべんきょうしましたからすごくたのしかった。

うんどうかいでは きばせんとなつなひきにでました。ぶかつでは からてをとりました

でもすこしこわかった でもおおきなこえでがんばりました。ドイツのともだちなつかしかったけどみんなやさしかったのでホームシックになりませんでした。

クラスのみんな せんせいたちほんとにありがとうございました。

留学生から良い刺激を受け、海外への興味を抱く生徒が増えています。今年の夏、アメリカ研修に参加する生徒は20名。貴重な体験をしてきます。

常時入賞出来る力から頂点をめざせ

— 剣道部 —

我々剣道部は現在、男子13名女子3名の合計16名で活動しています。2～3名だった時代を考えれば充実した人数と環境で稽古できていると感じます。

そんな中、昨年の県大会新人戦において、男子団体に初めて準優勝になりました。今まではベスト8が最高でしたからその結果には大満足、まわりからもたくさんの賞賛をいただきました。しかし決勝のスコアは1-3と差をつけられ、全国大会への切符は逃したので、次こそは必ずという思いでした。

厳しい稽古を積み、25年度の中国大会県予選・県総体と2大会連続で第3位となりました。優勝こそありませんでしたが、安定した結果を収められたことは生徒の自信にもなり、応援してくださった方々へ感謝したいと思います。

新チームでは、学校を中心として皆様から応援されるクラブとなるべく日々稽古に精進し、人間性の向上にも努め、全国大会出場目指してがんばります。これからもご声援よろしくお祈いします。



日々精進、稽古に励む剣道部

ゴルフ部近況報告



第30回中国高等学校ゴルフ選手権大会にて

現在ゴルフ部の選手たちは、シーズンに入り試合に出場しながら毎日練習に汗を流しています。6月の県総体では、女子の部では本高校の選手が1位、2位、3位と上位を独占し、また団体でも優勝するなど素晴らしい成績をあげました。7月17～19日に開催された中国大会個人の部では、普通科1年9組の田辺ひかりさん(駅家南中出身)が優勝を勝ち取りました。7月23～24日に開催された中国地区団体戦では男女ともに2位に入り、三重県で開催される全国大会への出場権を獲得しました。

選手たちはみんな熱く燃えています。みなさん応援をよろしくお祈いいたします。

第25回定期演奏会を終えて

— 吹奏楽部 —

6月23日に吹奏楽部の第25回定期演奏会を開催しました。今年は25回の記念演奏会で、2日後には芸術鑑賞会も行われるとあって部員一同はりきって練習に励みました。演奏開始前にはこれまでの定期演奏会の映像を楽しんでいただき、ロビーでは過去の定期演奏会のプログラムの表紙や演奏曲目を展示しました。

第1部はクラシックで2013年度コンクール課題曲『流沙』や『リンカンシャーの花束』、そしてラフマニノフ作曲の『交響的舞曲』を演奏しました。『リンカンシャー…』は、イギリスの古い民謡を題材とし、非常に難しいリズムとハーモニーが多用された難曲です。また『交響的舞曲』は今年度のコンクール自由曲で、ラフマニノフの美しく繊細なメロディーの表現に力が入りました。

第2部は「ボン・ボヤージュ！」と題し、旅にまつわる曲を集めて構成しました。目で見て楽しめる個性的なステージを目指していつもとは違うステージセッティングをし、中央のランウェイで奏者が観客により近い形で演奏できるスタイルをとりました。オープニングのブルースブラザーズの曲からライブ感たっぷりの演出ができたと思っています。中でも『オズの魔法使い』では、ドロシーとブリキの木こり、ライオン、案山子に扮した部員がパフォーマンスを披露し、好評でした。また名物のタップダンスでは、家庭科の吉野麻衣先生が作ってくださった衣装で楽しくステップを踏むことができました。

演奏会開催にあたり、多くの方々から多大なるご支援をいただき感謝申し上げます。これからも吹奏楽部をよろしくお祈いいたします。



ステージにファンタジーの世界が広がった
『オズの魔法使い』

第25回学外展 *butterfly*

第46期学友会文化局 局長 片山 有紀子(総合工学科3年 広島国際学院高校出身)

6月2日に、第25回学外展『butterfly』を、安芸区民文化センターにて行いました。

学外展とは、本大学の文化局に所属するサークルが、学外の会場で日々の活動の成果を地域の方々や学生などに披露することで、より多くの人にサークルの活動を知ってもらおうという行事です。今回の学外展は、ギャラリーなどの展示の部とスタジオでの演奏の部の2部門に分かれて開催しました。

展示の部では、電気試験受験クラブ、美術研究同好会、薬物乱用防止活動部、ボランティア部、写真部などの7サークルが展示を行いました。

電気試験受験クラブによるイルミネーションは、テーマである『butterfly』を表していて、華やかな作品でした。他にも、ボランティア部によるバルーンアートや電子計算機研修会によるゲーム体験など、個性ある展示を行いました。

また、3階の特設会場ではTOYBOXによる自作映画の上映、競技麻雀部による麻雀体験および麻雀大会、表千家流茶道部によるお茶立て体験および茶道具の展示が行われました。普段触れることのない茶道や麻雀について知る機会となれば光栄です。

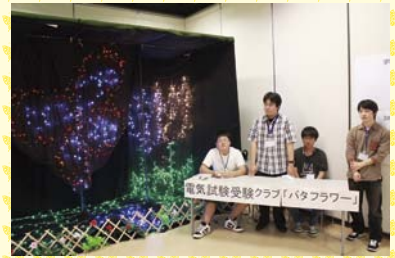


吹奏楽部による演奏

演奏の部では、2階のスタジオで吹奏楽部やMusic Planning Agencyが演奏を行いました。また、スタジオでの演奏にあたり、照明の設営や音響を放送通信研究会(VOD)が担当しました。限られた演奏時間で、それぞれ練習の成果を発揮し素晴らしい演奏を披露しました。

来年度は、今年度で得た教訓を元により多くの人に楽しんでもらえるような学外展を開催したいと思います。

文化局では10月19日、20日に大学で行われる高城祭でも文化系サークルの展示(文化展)を行います。是非お越しくださいませ。



電気試験受験クラブによるLEDの電飾

水泳部員、子どもに着衣泳指導補助

6月23日、広島市総合屋内プールで体験事業「チャレンジ！着衣水泳」(主催：公益財団法人広島市スポーツ協会)が開催され、本大学総合教育センターの入澤雅典教授が講師を務めました。

この事業は「着衣状態で自然水に落ちた場合に、いかに自らの命を守るか」という想定のもと、毎年夏休み前に開催されます。当日は児童・生徒19人と保護者ら8人の計27人が参加。講義を受けた後プールに移動し、着衣泳に挑戦しました。飛び込みや蹴り足、立ち泳ぎのほか、水中で脱いだズボンで浮き袋を作る方法や、ペットボトルやロープなど身近な道具を利用した救助法も学びました。

着衣泳体験は一般的なプールではできないので、水深5mのダイビングプールで行われました。さらに今回は参加者が多かったため、本大学の水泳部員7名が救助ボランティアとして指導補助や救助活動を担当しました。参加した子どもたちには大変緊張する体験でしたが、OBやOGを含む部員たちは、海外の海で訓練した泳力を駆使して、安全な事業の運営に貢献していました。



着衣泳に挑戦する子どもたち

新任職員紹介

— はじめまして よろしく —

たけうち こういちろう
竹内 幸一郎
法人本部財務課出納担当課長



7月1日から財務課に勤務しております。学校経営を取巻く環境が厳しさを増す中で、大学勤務や予算経理事務の経験を活かし、微力ではありますが、本学発展のため一生懸命勤めて参りますので、よろしくお願ひします。

みさき あきら
御崎 晃
事務部学生支援課学生担当課長



本年5月1日より、学生支援課学生担当課長として勤務させていたでいます。まだまだ、戸惑うことばかりですが、戦力として貢献できるよう一日一日頑張っていきたいと考えています。よろしくお願ひします。

学生時代の思い出と社会人になって思うこと

恩師や先輩・後輩に感謝、草笛奏者として全力



草笛を演奏する岡内さん

草笛演奏家 岡内 章二郎さん
(広島電機大学附属高校機械科 昭和45年3月卒業)

私は今ふり返り、高校時代が人生の励みとなって現在があると考えています。卒業から44年、再び当時を思い起こす機会をいただきました。

高校生活では先生方にたいへんお世話になりました。とりわけ西本五郎先生(現在名誉学院長)にはひどく反抗し、ご迷惑をおかけしたものです。勉強はあまり好きでなく、西本先生が一番心配していた生徒の一人だったと思います。

機械科卒業後、三菱重工に入社しました。三菱重工広島造船所では、コンピュータで動くNC機械操作とボイラのチューブ穴の研磨が仕事でした。しかし腰の病気で体調を崩し、7年6ヶ月で退職を余儀なくされました。その後治療に専念して病気を克服し、親族が経営する広島市中区の中華料理店で働きました。

学生時代から尺八が大好きで、学校帰りに広島市内で稽古し、趣味の尺八そして草笛の演奏に暮れていました。草笛は自然の葉っぱに息を吹きかけ練習したものです。今もって草笛は尺八以上に高度な古典楽器と考えています。

尺八は人間国宝・島村帆山先生に師事しました。島村先生は草笛の音色を認めてくださり、「草笛演奏家になささい」と告げられました。強い尺八より草笛を誇りとし活動しています。皇族にも認められ、音楽フェスティバル審査委員特別賞・東久邇宮盛厚殿下賞(皇族会)・東久邇宮盛厚殿下文化褒賞・日本善行会(内閣所管)賞を受賞、東京都庁公認草笛ライセンスを取得しました。

現在は年間200件近くの演奏会に全力を注いでいます。特に平和・戦争・核兵器廃絶を基本に演奏を続けています。恩師に支えられ、世界に通用する奏者として精進して参ります。

『本心・本気・本音・本腰・本物』本の字のつくものはいい。広島国際学院の後輩、先輩との出逢いに感謝します。応援よろしく願いいたします。

留学生交流会

留学生会会長 みょう がくよう 苗 岳陽 (食農バイオ・リサイクル学科2年 中国・大連出身)

本大学の留学生会とは、留学生のために、いろいろな活動に積極的に参加することを目的に作ったサークルです。入学したばかりの留学生をできるだけ大学の生活に慣れるように支援します。また、多くの日本人と交流し、日本文化を学び、よりよく日本で勉強する目的を目指し、学校内外さまざまな活動に積極的に参加するサークルです。

今年の留学生交流会は6月19日に学生課の主催で行いました。昨年と同じくそろそろ梅雨季に入るの、当日の午前中大雨が降り、交流会に参加するために駅から雨の中を進んで行った留学生が多くいます。参加の予定の留学生は一部が来られなくなったと思うけど、大雨のため減ることもなく、皆さんの交流会に参加したいという気持ちを強く感じました。

12時ごろに留学生交流会が順調に始まりました。日本人の学生達のダンスはとても面白く、熱意を感じました。留学生交流会の雰囲気も盛り上がりは頂点に達しました。当日留学生交流会の食事の美味しさと量は参加された学生や先生達に大好評でした。そして、最後は椅子取りゲームをやりました。学生達はよく参加しました。皆さんの笑顔が一番いいと思いました。ゲームが終わったら、とてもよいプレゼントが贈られ、学生達はとても喜びました。今年の留学生交流会は昨年より人数が増え、大盛会で終わることができました。

留学生交流会は、留学生達にとって、とてもいいことだと思いました。また来年の交流会で楽しみに会いましょう。



椅子取りゲームで会場は笑顔にあふれた

今村先生の叙勲受章を称えて

広島国際学院大学学長 奥田 勉

春の叙勲で、今村詮前学長が瑞宝中綬章を受章されました。心からお慶びを申し上げます。

先生は京都大学のご出身で、広島大学を停年退職された後、平成11年に本大学の教授に就任。図書館長、工学部長等の要職を歴任され、平成17年から5年間にわたり学長として活躍されました。その間、3学部3学科体制の構築、教員勤務評価の本格的実施、自動車短期大学の第三者評価と大学の機関別認証評価の受審、学部統合移転など、学長としてのリーダーシップを発揮され、本学院の発展に大きく貢献されました。

卒論がノーベル賞受賞者福井謙一教授の研究グループに加わるきっかけとなり、大学院も同じ研究グループで研鑽を積み、大学院修了後もその研究を発展させ続けておられます。研究内容は、いろいろな分子の機能をコンピュータを利用して電子状態を解析したり、分子軌道法を用いて理論的に分子設計するものです。世界のトップグループである福井門下の高弟として世界を相手に活躍され、昭和61年には日本化学会学術賞を受賞されました。また、平成12年には一流の専門学術雑誌の「20世紀の世界の代表的な理論化学の論文66編」に選ばれるなど、専門分野の発展に大きく貢献されました。これらの功績が評価されてこの度の受章に繋がったと思います。今後の先生のご健勝とご活躍をお祈りします。

叙勲の榮に浴して

広島国際学院大学前学長 今村 詮

大学院博士課程を単位取得退学後、48年間にわたって研究・教育に専念して参りましたがその長年の努力に対する叙勲と考へ、この間多くの方のお世話になったことに対して、あらためて深い感謝の念で一杯です。これで終わるとまさに紋切型の何の面白みもない文章になりますので、少し私自身の感想を述べますと、面映ゆい、あるいは、柄でもないものを頂いたということです。と言いますのは、大学に入るまでは、早く卒業して就職してサラリーマンになることしか考えていなかったのが、たまたま入った工学部に福井謙一先生(1981年ノーベル化学賞受賞者)がおられ、その先生の研究の話が面白くていつの間にか量子化学の虜になったのが今日の私だからです。人生何でもありだなあという印象です。

オープンキャンパス

6月22日、7月28日および8月24日、中野キャンパスで大学オープンキャンパスを開催しました。まず全体会で学部や総合教育センターの概要を説明し、情報文化学部、工学部の体験授業や施設見学を行いました。

現役学生は学科やサークル紹介のほか、「キャンパスアドバイザー」として参加者を案内し、各種相談を受け付けました。リーダーの松川史子さん(情報デザイン学科3年 広島国際学院高校出身)は「高校生のみなさんは、『言葉による紹介だけでなく、色々な体験ができたことで志望学部の具体的なイメージがつかめました』とってくださいました。私が感じているこのキャンパスで学ぶ楽しさを高校生の皆さんにも、保護者の皆さんにも感じて欲しいと思ってがんばったのですが、たくさんの方々楽しんでいただけたようでうれしく思いました」と語りました。

また上瀬野キャンパスでも6月23日、7月21日および8月25日に自動車短期大学のオープンキャンパスを開催。全体会に続いて小型エンジンの分解・組立や自動車の運転体験など様々なイベントを行いました。



大好評だった工学部食農
バイオ・リサイクル学科ビザ作り体験

| | |
|--------------------------------|--|
| 学 院 | 創立記念日(11/1) |
| 大学・短大 | 後期ガイダンス(大 9/18~19 短 1年 9/12 2年 9/13) 授業開始(大 9/20 短 9/17) |
| ★ 今後の主な 行事予定 (赤字は公開行事です) | 高城祭(10/19~20) 保護者懇談会(短 11/30) |
| | 推薦入試(大 11/14 短 11/2) 冬季休業(大 12/24~1/7 短 12/24~1/5) |
| 高 校 | 始業式(9/2) 保護者対象入試説明会(9/8) |
| | 中間考査(1・3年 10/17~21 2年 10/8~11) 修学旅行(2年 10/17~21) |
| | 文化祭(11/17) 期末考査(12/7~12) 終業式(12/21) |

この広報誌及び第三者認証評価結果はホームページでご覧になれます。 <http://office.hkg.ac.jp/>

高校生以上の方に図書館を開放しています。 詳細は図書館までお問い合わせ下さい。TEL082-820-2536